



# 丸子中央小だより 夢は羽ばたく

令和7年度 第13号  
令和8年2月12日  
上田市立丸子中央小学校

## 登り窯での窯たき(2/6~2/8)

この登り窯での窯たきは、これまで西内小学校の児童や地域の皆様の作品を焼き上げる伝統行事として親しまれてきました。昨年度は統合1年目のため実施できませんでしたが、今年度は関係各位のご理解とご協力をいただき、再び実施することができました。

窯たきは3日間、昼夜を通して火を入れ続ける（右上写真）ため、当番を決めて窯の温度管理を行います。陶芸講師の先生を中心に、地域の方々や学校関係者がその作業に携わりました。また、子どもたちも興味のある児童を中心に、薪運びなどの作業を体験しました。

窯の温度が徐々に上昇し、1,000°Cを超える頃には、煙突から火柱（右下写真）が立ち上ります。その様子は幻想的で、見ても飽きることがありませんでした。雪が降り続く天候の中ではありましたが、皆様のご協力により、無事に作業を終えることができました。

約1週間後に作品を取り出す予定です。仕上がりが今から楽しみです。



## 長野県小学生アンサンブル交歓会(金管バンドクラブ)

7日（土）、サントミューゼで開催された『長野県小学生アンサンブル交歓会（上田会場）』に金管バンドクラブが参加しました。6年生が引退してから、4・5年生にとって初めてのステージ。緊張したと思いますが、一生懸命に演奏している姿に感動しました。他の学校の演奏も聴くことができ、よい刺激になったと思います。これから練習で、さらに技能を伸ばしてくれることを願っています。保護者の皆様も、ありがとうございました。



管打楽器アンサンブル(5年生)  
『栄光の架け橋』

管打楽器アンサンブル(4年生)  
『鎌倉殿の13人』

# 新児童会発足に向けて～児童会のバトン、6年生から5年生へ～



4日（水）に6年生が中心となって運営する最後の児童会が行われました。6年生はこの1年間、学校の代表として、より良い学校づくりを目指し、さまざまな活動に取り組んできました。今回の児童会でも、会の進行や発表、全校への呼びかけなどを堂々とを行い、「さすが最高学年！」と自信を持って言える姿を見せてくれました。これまでの経験を生かし、最後まで責任を持って役割を果たす6年生の姿からは、大きな成長と頼もし感を感じることができました。

10日（火）に今年度最後の児童総会が行われました。



委員長から令和7年度の活動報告がありました。その後、令和8年度の児童会長と副会長および各委員会の委員長、副委員長、書記の皆さんから自己紹介がありました。この児童総会も、引き継ぎの一つとしてとても大事な時間となりました。

児童会活動は、特別活動という教育課程のひとつです。ですから、定例の児童会も児童総会も、教職員が設定する「授業」と同じです。ただし、教科等以上に子どもたちの意思や判断にゆだねる場面が多く、その経験を積むことで、重ねることで、さまざまな育ちが期待できます。

6年生から5年生へと児童会の引き継ぎが進められていますが、引き継いだからといって新役員の皆さんのが初めから完璧にできるというわけではありません。会長として、委員長としての経験を積み、重ねていくことで、1年たった頃にようやく慣れる…なんてことがあるかもしれません。それでも、緊張の中、気持ちを込めて自己紹介をする役員の皆さんと、友だちの様子を座席から見守る5年生の皆さんのは、「よし、自分たちがやるぞ！」という強い決意がビシバシと伝わってきました。いよいよバトンが渡されようとしています。

ありがとう・おつかれさま、6年生！ たのむぞ、5年生！